

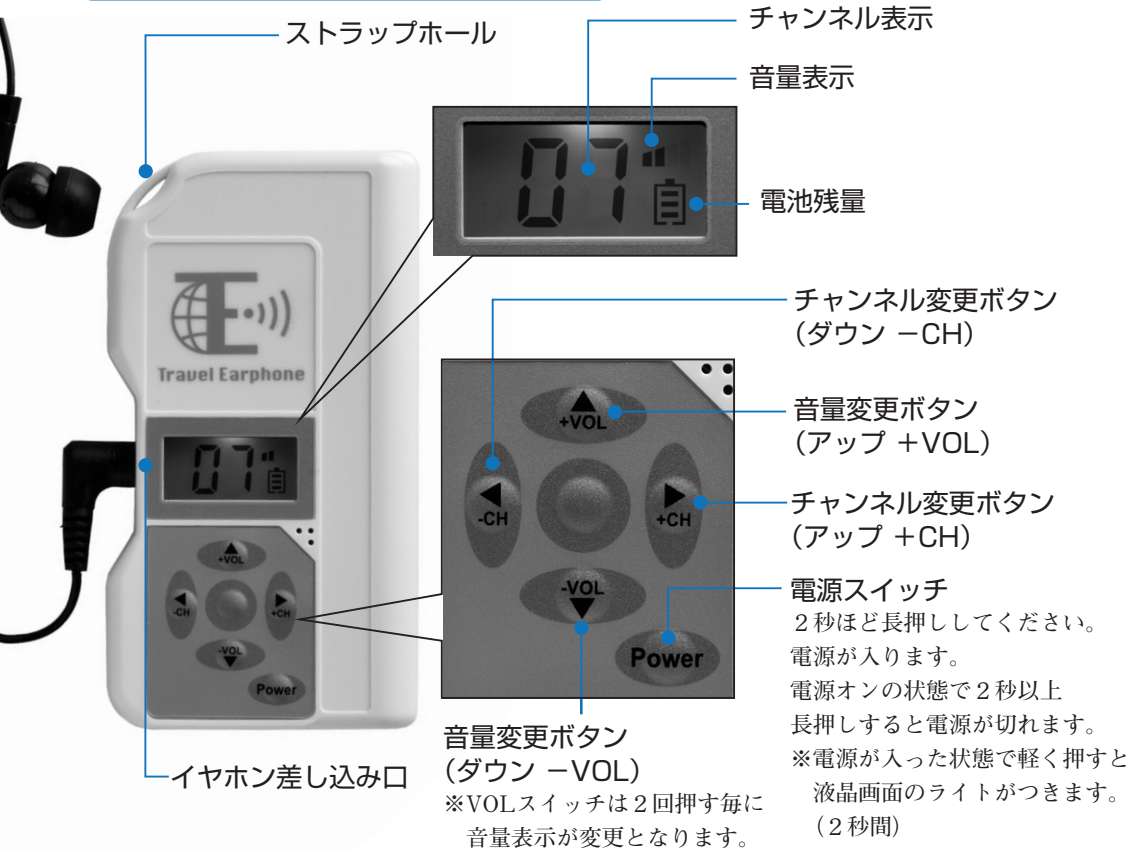
Travel Earphone
Rental Service
取扱説明書
お客様用

お渡し内容

受信機(本体)、イヤホン、単4アルカリ電池(2本装着済)、
ネックストラップ(お帰りの際お持ち帰りください)

*すべて完全消毒済みですので安心してご使用ください。

各部の説明



電池交換の方法



①受信機裏にあるフタの中心を押しながら少し手前にスライドさせます。

②フタは、本体に接続されておりはずれませんので、90度起して電池を取り出してください。



③電池は2本とも交換します。
+・-の向きに注意して、一直線に並ぶように電池をセットし、フタを閉め、元のようにカチッというまで差し込みます。

使用上のご注意

イヤホン

- イヤホンは差し込み口にしっかり差し込んでください。また、断線の恐れがあるので、強く引っ張らないでください。
- 受信機のチャンネル数は16chあります。添乗員またはガイドから案内されたチャンネルに合わせてください。
- 水濡れ厳禁です。もし水滴などが付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- 航空機内では電源をお切りください。(電子機器使用禁止)
- ペースメーカーを使用している方はご注意ください。ペースメーカーの位置より22cm以上離してご使用になるか、お客さまの判断でご使用をおひかえください。
- 必要以上に大きな音量は音漏れの原因となりますので、ご注意ください。

電池残量表示

- 電池残量は5段階で表示されます。
- 表示の棒線が0本になると点滅してから約1時間後に切れますので、その前に電池を2本とも交換してください。
- 電池を交換しましたら、再起動して電源が入り、通信できていることをご確認ください。

バッテリーセーブモード

- 送信機が無音状態で送信電波が届いていない時は、液晶部分のチャンネル表示が点滅して「セーブモード」に入ります。
- 電波をキャッチすると自動的にたちあがります。

オートパワーオフ機能

- 電源を入れた後、あるいはセーブモードに入った後、一切の操作がされずに30分以上経つと電源が切れますので、電源の切り忘れが防げます。説明再開に際して30分以上使用していない場合は、再度電源を入れてください。

*行程終了後は添乗員またはガイドが回収します。ご面倒ですがイヤホンコードを外してお渡しく下さい。

*ストラップはお持ち帰りください。

*万が一全損・紛失により機材を返却できなくなった場合には、5,000円(税別)の補償金がかかります。

*紛失がご心配な方は添乗員またはガイドへ返却ください。

お手元に機材が届きましたら……

「引渡伝票」をご確認ください。

送信機はありますか？

予備などは揃ってますか？

お客様用の受信機・イヤホンコード・ストラップのセットが人数分揃っているかをご確認ください。

※出発地にて送受信のチェックをお願いいたします。

各部の説明(送信機)



ストラップホール

※内蔵アンテナが隠れています。

稼働表示 TX
送信時に点灯

チャンネル表示
チャンネル数は16ch

電池残量

チャンネル変更ボタン
(ダウン -CH)

※内蔵マイクが隠れています。

チャンネル変更ボタン
(アップ +CH)

電源スイッチ

2秒ほど長押ししてください。電源が入ります。電源オンの状態で2秒以上長押しすると電源が切れます。

※電源が入った状態で軽く押すと液晶画面のライトがつきます。(2秒間)

マイク差し込み口

各部の説明(受信機)



音量表示

電池残量

イヤホン差し込み口

音量変更ボタン
(アップ +VOL)

音量変更ボタン
(ダウン -VOL)

※VOLスイッチは2回押す毎に音量表示が変更となります。

電池交換の方法(送信機) 単3電池を使用



①同封の専用コインを差し込んで反時計回りに90度押し回し、フタをはずします。

②電池が見えたら、テーブルの上などの平らなところで本体を傾けて取り出します。

③電池は2本とも交換してください。その際に、+・-の向きに注意してください。

④PUSHの目印に合わせて水平にしっかりあてて、蓋を戻し、専用コインで時計回りに90度押し回してカチッというまで閉めます。

電池交換の方法(受信機) 単4電池を使用



①受信機裏にあるフタの中心を押しながら少し手前にスライドさせます。

②フタは、本体に接続されておりはずれませんので、90度起こして電池を取り出してください。

③電池は2本とも交換してください。その際に、+・-の向きに注意してください。電池は左奥へ押し込み一直線になるようにいれます。

④フタを閉め、元のようにカチッというまで差し込みます。

※交換終了後、再起動して電源が入ることをご確認ください。

取扱いについて

イヤホンコード、マイクロホンは差し込み口にしっかり差し込んでください。また、断線の恐れがあるので、強く引っ張らないでください。

- ①送信機・受信機のチャンネル数は16chあります。お客様の受信機とチャンネルを合わせて設定してください。
- ②送信機は、本体に内蔵マイクを装備していますので、マイクロホンを通さずに本体から送信することも可能です。
- ③砂埃の多い地域などの場合、汚れにより雑音が入る場合があります。その際には、やわらかな布などで拭き取ってください。
- ④精密機械ですので水濡れ厳禁です。もし水滴などが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- ⑤航空機内での電子機器使用は禁止です。航空機内では電源をオフにしてください。
- ⑥ペースメーカーを使用している方はご注意ください。この機器は国際的防磁数値をクリアしていますが、ペースメーカーの位置より22cm以上離してご使用になるか、お客様の判断でご使用を避けることをお勧めします。
- ⑦音量にご注意ください。必要以上に大きな音量は音漏れの原因となります。

電池残量表示

- 電池残量は5段階で表示されます。
- 表示の棒線が0本になると点滅してから約1時間後に切れますので、その前に電池を2本とも交換してください。電池を交換しましたら、再起動して電源が入ること、送受信が可能なことを確認してください。

バッテリーセーブモード(受信機のみ)

- 送信機が無音状態か送信電波が届いていない時は、液晶部分のチャンネル表示が点滅して「セーブモード」に入ります。
- 電波をキャッチすると自動的にたちあがります。

オートパワーオフ機能(送信機)

- 電源を入れた後、あるいはセーブモードに入った後、一切の操作がされずに30分以上経つと自動的に電源が切れます。30分以上使用しない場合は、予め電源を切るか自動的に電源が切れた場合は、再度パワーボタンを押してから説明を再開してください。

故障かな?と思ったら…建造物の狭い空間(四方を壁に囲まれている建物や船室内部等)や、強い電磁波が出ている場所、また、近くで同様の通信機器を使用していると、一時的に聞こえにくい場合やノイズが発生することがあります。

「電波干渉」が発生していることが考えられますのでチャンネルを変更したり、場所を変えるか送・受信機の距離を近づけてご使用ください。

また、送信機と受信機の再起動(電源 OFF→ON)や、本体を高く上に上げてみるなどお試しください。

本体よりイヤホンコード…聞こえなくなった原因の多くは「イヤホンコード」の断線です。予備が入っていますので交換してご使用ください。

●お問い合わせ先

(株)エアサーブ トラベルイヤホン(担当)

TEL.03-6745-7196 (平日)9:30~18:30(日本時間) 土・日・祝日休み

または、「引渡伝票」記載の弊社空港内「TEデスク」までお問い合わせください。

●補償

- 全損・紛失は、受信機1台につき5,000円(税別)／送信機1台につき10,000円(税別)がかかります。

●回収時

- 送信機・受信機・マイクロホン・イヤホンコード・未使用電池の回収をお願い致します。
- イヤホンは、受信機から取り外して、ひとまとめ(ひと束)にしてください。
- 引渡伝票「返却数欄」にそれぞれの返却数を記入してください。紛失された場合は「添乗員コメント欄」に記入してください。
- ストラップは回収いたしません。

イヤホンコードはひとまとめに



●ご返却

ご帰国後は直ちに下記へご返却ください。

(「引渡伝票」に返却数などの必要事項をご記入のうえ、署名してご提出ください。ご記入がない場合は受付できません。)

1.返却場所

成田空港：第1・第2ターミナル共到着階『QLライナー』内 トラベルイヤホン返却窓口

羽田空港：国際線ターミナル出発ロビーZカウンター9番、10番エアサーブ受付カウンター(不在時は専用返却BOX)

中部国際空港：3階出発ロビー『旅行会社カウンター19番』エアサーブ受付カウンター(不在時は専用返却BOX)

関西国際空港：到着階南端『ABC 手荷物一時預かり所』内 トラベルイヤホン返却窓口

福岡空港：国際線ターミナル出発ロビーエアサーブカウンターおよび第2ターミナル国内線1階エアサーブカウンター(不在時は専用返却BOX)

2.上記以外は、到着後速やかに最寄りの宅配会社から下記にご返送ください(配送料別途)。

送付先：〒286-0033 千葉県成田市花崎町798 DHビル2階

株式会社エアサーブ TEL：0476-85-8877